

埼玉県吹奏楽連盟

第3回【定例】常任理事会

2025年9月30日（火）

与野本町コミュニティセンター

司会 _____ 書記 _____

定数確認 （ / 23名 ）

開会の挨拶（ ）

報 告

議 題

1 令和7年度埼玉県アンサンブルコンテストの運営について

（1）アンコン事業部より

①申込みに関すること

申込み〆切：10月 6日（月）

チーフ会 ：10月11日（土）

理事会 ：10月14日（火）

②運営全般に関すること（別紙）

③審査要領（別紙）

④司会原稿（別紙）

⑤実施規定の説明（別紙）

（2）申込遅れへの対応について：対応方針の確認

①可能な範囲で出演できるように対応する

②チーフ会終了後に中学校各支部の代表数を変更する事は不可

③理事会終了後の申し出は出演順1番の対応

④打合せ抽選会終了後の対応は不可

- (3) 県大会入場券販売の外部委託について
昨年同様、セブンチケットで対応する

- (4) 録音・録画・写真について【確認】
大学・職場一般 キメラ（録画、CD販売あり）
中高県大会 ビデオソニック（録画のみ）
写真 フォトクリエイト（地区・県すべて）

- (5) 次年度：令和8年度埼玉県アンサンブルコンテスト日程について
令和8年11月29日（日）大職般 久喜
12月19日（土）中学県大会1 久喜
20日（日）中学県大会2 久喜
21日（月）高校県大会 久喜
高校地区大会：11月14、15・20・21・22 久喜

2 部員数調査について

別紙の通り（Googleフォームで受付中）
各支部アンコン打合せ会にて未送信団体への送信要請をお願いします

3 実施規定の改訂、開催要項の変更について

- (1) コンクール実施規定
来年度の参加資格変更、合同バンドの2、3年生の上限設定に伴う変更
(2) マーチングコンテスト実施規定
Bの部の演奏時間の変更、高等学校の合同OKに伴う変更
(3) マーチングコンテスト開催要項
A、B両方に出場した場合、両方とも西関東大会に推薦できるようにする変更

4 西関東バンドクリニックについて

開催日：令和8年2月8日（日）さいたま市文化センター

- (1) 合同バンドについて
東部支部のバンドセッションで編成した北バンドが埼玉県の合同バンドとして出場
(2) オンライン会議（9/24実施）の報告
①タイムテーブル(案)
②その他
・前日準備
7日（土）に同会場で埼玉吹奏楽コンクール新人戦を行っているため、表彰式後から会場やステージセッティングの準備が可能（群馬県のセッティングにしておきたい）

5 令和8年度の全県に関する日程について

(1) 全県総会 令和8年4月28日(火)

(2) 諸会議(案)

常任理事会

第1回 5月12日(火)

第2回 6月30日(火)

第3回 9月29日(火)

第4回 1月12日(火)

理事会

第1回 6月9日(火)

第2回 8月25日(火)

第3回 10月13日(火)

第4回 2月2日(火)

(3) コンクール(案) ※マーチングの〆切も同日

申込〆切 6月1日(月) チーフ会 6月6日(土) 理事会 6月9日(火)

【検討事項】コンクール日程(別紙)

・中Aの県大会を2日間で開催したい。

⇒審査員は2日間同じにする。その日で代表は決めず、2日間通しで代表を決定。

(4) アンコン(案)

申込〆切 10月5日(月) チーフ会 10月10日(土) 理事会 10月13日(火)

(5) 次年度コンクール日程検討

①予備調査の結果(9/30 14:30時点)

	A	B	C	D	A + D	現時点での 開催日数
東部	20	29	3	7	4	3日間
西部	39	70	1	1	0	4日間
南部	35	25	0	2	4	3日間
北部	18	29	2	1	2	3日間
中央	25	29	0	5	4	3日間
高校	41	49	21	1	14	6日間

※東部…Aがこれ以上増えると、終了が遅くなる可能性あり

※西部…Bがこれ以上増えると、開始時間を早めれないと終了が遅くなる可能性あり

※南部…日数は問題なさそう

※北部…日数は問題なさそう

※中央…日数は問題なさそう

※高校…Aを3日にしたので、それ以外は問題なさそう

②R8コンクールの日程

(提案) 中Aの県大会を2日間で開催したい。

⇒審査員は2日間同じにする。その日で代表は決めず、2日間通しで代表を決定。

6 審査員検討委員会

(1) 開催日：本日の常任理事会後に実施

(2) 構成員(敬称略)

鈴木(コンクール事業部長) 辻浦牧(コンクール運営委員長) 中台(同副委員長)

星野(コンクール事業部) 岡田(アンコン事業部) 山下(マーチング事業部)

(3) 検討内容

- ①今年度のコンクールにおける講評内容の検証（内容で気になる表現があれば）
- ②総合順位と審査員個人の順位にどの程度の差があるか
- ③審査員リストの更新
 - ⇒県大会の審査員については、早めに決定したい

7 審査方法等検証チーム

(1) 構成員（案）

コンクール事業部（小、中、高、大職般から1名ずつ）	3名
アンコン事業部（中、高、大職般から1名ずつ）	3名
マーチング事業部	2名

(2) 検証方法（案）

- ①今年度審査を依頼した審査員にアンケートをお願いする
- ②100点方式と以前までの項目別の方式とで、総順位と比較してバラツキを検証

(3) 検討事項（案）

- ①審査方法の検討
- ②表彰方法（地区大会の全団体表彰）の検討

8 予算検討委員会

2月理事会後開催予定：事業部長・支部長・事務局長・事務主事

9 西関東事業関連

(1) 令和7年度西関東アンサンブルコンテストについて

中学生・大学 令和8年1月24日（土）久喜総合文化会館（前日仕込みあり）
高等学校・一般 令和8年1月25日（日）久喜総合文化会館

(2) 令和7年度西関東バンドクリニック2025（上記の通り）

令和8年2月8日（日）さいたま市文化センター

(3) 次年度埼玉県主管：令和8年度西関東吹奏楽コンクール（予定）

中学生部門Aの部 令和8年9月5日（土）所沢市民文化センター
高等学校部門Aの部 令和8年9月6日（日）所沢市民文化センター

(4) 聴講研修会報告書（別紙）

10 常任理事より提案

(1) コンクール小学校部門の代表の選出方法について（別紙）

(2) 小BFフロア部門の開催方法について（別紙）

1 1 その他

(1) LINEグループについて



常任理事会用



理事会用

1 2 登録変更 後援申請

開会の挨拶（ ）

旅費等支給

第3回理事会 令和7年10月14日（火）浦和コミュニティセンター第14会議室

令和7年度 アンコンの運営全般について（案）

※基本、吹奏楽コンクールに準ずる

○受付について

- ・コンクール同様、ステージ表のみ提出する。

○鑑賞について（※県大会チケットのみ外部委託、会場販売なし）

- ・地区大会：演奏者、一般生徒、保護者、全て終日入場可とする。（チケットなし）
- ・県大会：演奏者は終日入場可、演奏者以外（生徒・保護者）は、チケットを購入して入場する。

※販売は外部委託（セブンイレブン）とする

※先に出演校が購入、その後一般販売（一回 20 枚まで購入可）、料金は¥ 7 0 0（手数料込）

○役員について＜分担：地区は支部ごと、県は事務局が計画＞

- ・地区大会：教員は、当日出演校の先生方で行う。生徒も、出演校の中から最低限の人数で行う。

※県大出場校は「引率の先生」と「役員の先生」を明確にして県事務局に報告する。

- ・県大会：教員は、出演校＋各支部配当（場合によっては理事）で行う。

生徒は、高校生にお願いして旅費も連盟よりだす。交涉及び計画は県事務局が行う。

○開閉会式及び表彰式について（全県統一）

- ・開会式：①審査員紹介、②お願い（諸注意）
- ・閉会式：①審査員紹介、②審査結果の発表および表彰、③代表発表、④挨拶（連盟の代表者）

*閉会式及び表彰式は、参加校の生徒と引率職員のみ参加できる。（保護者なし）

○演奏前後について（全県統一）

- ・礼は、演奏後だけとする。アナウンスは、「〇番〇〇中学校、〇〇重奏」のみとする。

○録音録画、写真撮影について（全県統一）

- ・地区大会：自団体のみ可とする。（三脚等は禁止） 県大会：全て禁止とする。（業者あり）
- ・写真：全て禁止とする。（業者あり）

○プログラムについて＜担当：事務局＞

- ・地区大会、県大会、ともに作成する。（演奏者の名前入り）

○審査関係（全県統一）

- ・集計表には審査員名を記載、団体名は記載しない。
- ・審査用紙の回収は、全団体演奏終了後に行う。

令和7年度 埼玉県アンサンブルコンテスト審査要領（案）

埼玉県吹奏楽連盟

◇本日の出場団体数（ ）団体 ◇代表数（ ）団体

- 1、全団体（失格団体を除く）に金賞・銀賞・銅賞のいずれかが与えられます。点数の合計を順位点に換算した結果に基づき、金賞・銀賞・銅賞に分けた原案を運営委員が作成し、審査員の先生方に決定していただきます。但し3つのグループに分けることが困難な場合は概ね均等に分けます。
- 2、100点満点で審査をお願い致します。
- 3、審査員個人の採点において、点数の幅をなるべく広くつけていただき、極力同点は避けてください。特に1位から3位までは必ず同点を避けてください。この範囲に同点があった場合は修正をしていただきます。採点にあたっては「点数メモ」をご活用ください。
- 4、点数記入欄は、必ずボールペンをお使いください。その他の欄は鉛筆等でも構いません。
- 5、項目ごとの点数欄が無い場合、採点の根拠となった項目について○・△・×でお示しください。
- 6、地区大会においては、審査員5名の順位点の最も低いものを1つ削除する（下カット）、県大会においては、審査員7名の順位点の最も高いものと低いものをそれぞれ1つずつカットする（上下カット）を行います。
- 7、予備の審査用紙を用意しております。必要な場合は運営委員へお申し付けください。
- 8、審査用紙の回収は、全団体の演奏終了後に行います。「点数メモ」は回収せず、点数をPCに入力後に間違いが無いかご確認いただきますので、団体名や出演順を書き留めておいてください。
代表決定に際しボーダーラインで同点がでた場合は、同点の団体の中で上位につけた審査員の数が多い団体を代表とします。それでも同点の場合は、審査員全員の投票により決定します。
- 10、参加団体に配布する点数表に審査員名が記載されます。団体名は記載されません。
- 11、講評は顧問（大人）だけでなく、生徒（子供）も目にする場合があることをご配慮ください。
- 12、運営委員は（ ）で待機しておりますので、ご不明の点やご用がありましたらお声かけください。
- 13、大会の運営全般に関してどんなことでも構いませんので、お気付きの点がありましたら是非アンケート用紙にお書きください。お帰りの際に回収させていただきます。

アンサンブルコンテスト アナウンス原稿（案）

■開会式

司会「お待たせ致しました。これより（例：令和〇年度 第〇回、埼玉県アンサンブルコンテスト、〇〇大会〇日目）を開会いたします。はじめに（例：（運営委員）〇〇〇〇）より、本日審査をしていただく先生方を紹介いたします。」

運営委員「〇〇〇〇、〇〇〇〇・・・」

司会「続きまして、皆様に何点かお願いを申し上げます。（諸注意）」

司会「それでは演奏開始までしばらくお待ちください。」

■演奏

司会「これより演奏をはじめます。プログラム〇番、〇〇市立〇〇中学校、〇〇〇重奏」

■休憩の前

司会「これより（昼食）休憩に入ります。次の演奏開始は、〇〇時〇〇分です。」

■休憩の後

司会「それでは演奏を再開いたします。プログラム〇番・・・」

■最後の団体が終わった後

司会「以上で、本日すべての演奏を終了いたします。本日の結果発表と表彰式は、出場校の生徒と引率教員のみで行います。速やかにご退館をお願いいたします。これより集計と表彰式の準備の為、〇分間の休憩といたします。尚、各チームの代表 1 名は（放送が入りましたら）〇〇まで、ご集合ください。」

■表彰式・閉会式

司会「大変お待たせいたしました。ただいまより（例：第〇回、埼玉県アンサンブルコンテスト、〇〇大会〇日目）の表彰式を行います。はじめに（例：（運営委員）〇〇〇〇）より、本日審査をしていただいた先生方を紹介いたします。」

運営委員「〇〇〇〇、〇〇〇〇・・・」

司会「それでは審査結果の発表と表彰に移ります。発表と表彰は（例：（埼玉県吹奏楽連盟〇〇〇、〇〇〇〇）より行います。

発表者「・・・・・・・・」

司会「続きまして、来る〇月〇日、〇〇〇〇で行われる〇〇大会への推薦団体の発表を（例：（運営委員）〇〇〇〇）より行います。」

発表者「・・・・・・・・」

司会「代表に選ばれた団体の顧問の先生は、閉会式後すぐに（〇〇〇）にご集合ください。」

「終わりに（例：（本日の実行委員長）〇〇〇〇）より、ご挨拶申し上げます。

挨拶者「・・・・・・・・」

司会「以上で、表彰式を終了いたします。出場団体の代表者が退場します。どうぞ盛大な拍手でお送りください。」 ※代表者、役員 退場

アンサンブルコンテストに出場するにあたり、以下のような事案は規程違反となるため、審査対象外により失格となりますのでご注意ください。

①演奏時間に関すること

（事例１）演奏時間が５分を超えた場合

（演奏時間）

第 8 条 演奏時間は５分以内とし、これを超過する場合は失格とし、審査の対象とならない。

②演奏人数に関すること

（事例２）２名以下、または９名以上による編成での出場

（編 成）

第 6 条 各チームの構成メンバーは、各部門とも３名以上８名までとし、編成は、木管楽器、金管楽器、打楽器、コントラバスによるものとする。ただし次の各項は認めない。

- １．同一パートを２名以上の奏者で演奏すること。
- ２．独立した指揮者をおくこと。
- ３．リコーダーを使用すること。
- ４．コントラバスのみで編成を組むこと。

③演奏者に関すること

（事例３）【全 部 門】２チーム出場する団体の、同一演奏者によるチームの重複

（事例４）【職場一般】職業演奏家が出場した場合

（奏者の制限）

第 5 条 同一奏者が県外を含む二つ以上のチームに重複して出場することは認めない。職業演奏家の参加は、これも認めない。これに違反した正会員団体はすべてこれを失格とみなし審査の対象とならない。

④出場資格に関すること

（事例５）合同で出場する場合、合同後の１，２年生の総数が１６名を超えた場合

（参加資格）

第４条 各部門の参加資格は次のとおりとし、１正会員団体につき２チームまで出場することができる。ただし、中学生部門において合同出場する場合は、合同後の団体から２チームまでの出場とする。

１．中学生部門

構成メンバーは同一中学校に在籍し、正規の授業またはクラブ・部活動として、吹奏楽を習得している生徒、または、校外外で活動する単独校、複数校混合の団体に在籍している中学生とする。同一学内、同一団体内の小学校児童の参加は認める。少人数の団体の救済措置として、同一支部内において複数正会員団体による合同出場を認める。ただし、出場申し込み時点で合同後の１・２年生在籍人数が１６名を超えない場合に限る。在籍する中学校が出場する場合、当該校の部員が他の団体に出場することは認めない。

（事例６）【大学部門】管・打・コントラバス専攻学生が出場した場合

３．大学部門

構成メンバーは、同一の大学に在籍している学生（大学院生を含む）とする。ただし、管・打・コントラバス専攻学生の参加は認めない。

⑤編成・パート・使用楽器に関すること

（事例７）同一のパートを２名以上の奏者で演奏した場合

（事例８）コントラバスのみの編成で出場した場合

（事例９）リコーダー、ピアノ、コントラバス以外の弦楽器を使用した場合

（事例１０）エレキベースやシンセサイザーなどの電子楽器を使用した場合

（編 成）

第６条 各チームの構成メンバーは、各部門とも３名以上８名までとし、編成は、木管楽器、金管楽器、打楽器、コントラバスによるものとする。ただし次の各項は認めない。

- １．同一パートを２名以上の奏者で演奏すること。
- ２．独立した指揮者をおくこと。
- ３．リコーダーを使用すること。
- ４．コントラバスのみで編成を組むこと。

⑥楽曲に関すること

（事例 11）著作権の存在する楽曲を演奏する際、編曲の許諾がない場合

第 13 条〈演奏曲〉

出場チームは、自由曲 1 曲を演奏して審査を受ける。ただし、組曲も 1 曲とみなす。また、演奏曲は、県予選で演奏したものとする。なお、著作権の存在する楽曲を編曲して演奏する場合は、事前に著作権者から編曲の許諾を受けなければならない。許諾を受けずに出場することは認めない。

- | |
|---|
| ※ 作曲者の死後およそ 70 年を経っていない大半の作品には著作権が存在する。 |
| ※ 編曲の管理は、日本音楽著作権協会ではなく、著作権者（作曲家又はその楽譜の出版社）が行っている。 |

【参考】西関東吹奏楽連盟アンサンブルコンテスト実施規定

ここに挙げた事例はすべてを網羅しているものではありません。

必ず「埼玉県アンサンブルコンテスト実施規定」全文の内容をご確認の上、ご参加ください。

第48回埼玉県アンサンブルコンテスト県大会の入場券について

【関係者先行販売】

県大会資料として配布

昨年度より、アンサンブルコンテスト県大会の入場券はすべてセブンチケットサービスで販売します。手数料がかからず、セブンイレブン店頭設置のマルチコピー機のタッチパネルの操作で簡単に購入できます。

※エントリ一時の学校ごとの申し込みや会場での当日販売は行いません。

※連盟関係者でなくても一般販売期間に予め入場券を購入することが出来ます。

※未就学児の入場はできません。小学生以上は入場券が必要です。

【販売期間と購入方法】

11月28日(金) **時**分 ～ 12月6日(土) **時**分

セブンイレブン店頭のマルチコピー機の操作方法


1 マルチコピーメニュー「チケット」を選択

2 チケットサービスメニュー「緑色のセブンチケット」を選択

3 大ジャンルの選択「ファンクラブ・会員限定チケット」を選択

4 中ジャンルの選択「イベント・アート・その他」を選択

5 「埼玉県吹奏楽連盟」を選択

パスワードの入力「  」

6 商品を選択

「12月13日埼玉県アンサンブルコンテスト中学生部門第1日」

「12月14日埼玉県アンサンブルコンテスト中学生部門第2日」

「12月15日埼玉県アンサンブルコンテスト高等学校部門」いずれかを選択

7 確認OK

8 枚数入力（1度に20枚まで）各日700円（税込）です。

9 お名前の入力

10 電話番号の入力

11 申し込みボタンを押す → 払込票出力

12 レジに持って行って支払い、入場券を受け取る

パスワードについての注意事項

出場者が、卒業生、家族、親戚等にパスワードを教えることは差し支えありませんがたとえ友達限定でもSNS等のインターネットへの投稿や不特定多数が目にする印刷物での配布は禁止いたします。（部活内の連絡のための配布物等は可。演奏会チラシ、楽団ホームページなどへの転載は不可）

第48回埼玉県アンサンブルコンテスト県大会の入場券について

【一般販売】 地区大会打ち合わせ会で配布と連盟ホームページで公告

これまでは出場校以外は当日券を購入する方法しかありませんでしたが、今年度はセブンイレブンチケットで販売します。

完売しない限り大会当日も購入できますので、お近くのセブンイレブンで入場券を購入してから会場へお越しください。

【販売期間と購入方法】

12月7日(日) **時**分 ~ 当日(各日) **時**分まで

セブンイレブン店頭のマルチコピー機の操作方法

- 1 マルチコピーメニュー「チケット」を選択
- 2 チケットサービスメニュー「緑色のセブンチケット」を選択
- 3 左下のセブンコード検索をタッチして入力 「セブンコード: ****」
またはキーワード検索
アンサンブルコンテスト 埼玉県吹奏楽連盟 アンコン など
- 4 商品の選択と確認 OK
- 5 枚数入力(1度に20枚まで) 各日700円(税込)です。
- 6 お名前の入力
- 7 電話番号の入力
- 8 申し込みボタンを押す → 払込票出力
- 9 レジに持って行って支払い、入場券を受け取る

※未就学児の入場はできません。小学生以上入場券が必要です。

※出場校には先行販売がありますので、ここでの販売枚数は未確定です。(最低100枚)

※セブンチケット WEB サイトで予約購入することも可能ですが、その場合は会員登録と、入場券代金のほかに、1枚あたりシステム手数料110円(税込)が必要です。入場券の受け取りはセブンイレブン店頭になりますので結局お店に行かなければ受け取れません。

全国のセブンイレブンで購入できますが、会場(久喜総合文化会館)周辺では、久喜駅東口店(会館方面と反対側の出口)、久喜南店(会館から徒歩圏内)ほか、車で数分のところに10軒ぐらいあります。

構成人数調査 のご回答返信をお願いします。
回答期限 10月6日（月）

令和7年度 埼玉県吹奏楽連盟加盟団体構成人数調査について

調査の目的

少人数バンドに対する対策、今後の吹奏楽発展の方策を討議するために現状を把握したい。

西関東吹奏楽連盟

フォームでの回答について

- ・ Google フォームにて **今年度活動した部員数（団員数）** を入力、送信してください。
※ 引退した生徒の人数も含みます
- ・ 中高一貫校で中学校、高等学校の両方の部門に加盟している場合は、加盟団体ごとに登録してください。
- ・ 全加盟団体にご回答をお願いします。 回答期限10月6日（月）
- ・ 以下の URL または QR コードよりアクセスしてください。

URL

小学校	https://forms.gle/bnPCUSiGeTd4hgFD7
中学校・高等学校	https://forms.gle/gIfgjQGyhdY5husx5
大学	https://forms.gle/4H86gTCutkhEpsdq7
職場・一般	https://forms.gle/HguGk4UAJyRwCmjc7

QR コード

小学校



中学校・高等学校



大学



職場・一般



- ・ フォームでご回答いただく内容は以下の通りです。

支部、 学校名、 学年毎（区分毎）の今年度活動した人数

埼玉県吹奏楽連盟事務局

TEL.048-832-0162

FAX.048-833-4662

コンクール実施規定

(参加資格)

第5条 各部門の参加資格は次のとおりとし、参加は1正会員団体につき単一部門のみとする。

以下略

2. 小学生部門、中学生部門およびB、C、Dの部、高等学校部門は、各同一部門内で複数正会員団体による合同出場を認める。ただし、出場申し込み時点で合同後の2・3年生在籍人数が各部門の制限人数を超えない場合に限る。合同後の各部門の制限人数は次の表の通りとする。
- 中学生部門においては同一支部内に限るものとする。

部門	Aの部	Bの部	Cの部	Dの部
小学生	人数制限なし			
中学生	45名以内	25名以内	15名以内	人数制限なし
高等学校	50名以内	25名以内	15名以内	人数制限なし

3. 中学生部門および高等学校部門のB、Cの部は出場資格制限を設定する。出場申し込み時点で2・3年生の在籍人数がBの部は30名25名以内、Cの部は20名15名以内の団体が出場できる。

(参加数制限)

第6条 参加は1正会員団体につき1編成の出場団体のみとする。ただしAの部へ出場する団体は、希望によりDの部へもう1編成の出場を認めることとする。この場合、奏者の重複は認めない。これに違反したときは失格とする。ただし、Aの部に合同出場した団体による、Dの部へのもう1編成の出場は認めない。

(本規定の改廃)

第28条 本規定の改廃については、理事会において行う。

また特に必要ある時は、総会の議決によることとする。

37. 令和7年 2月 4日に一部改正し、令和7年度の実施より適用するものとする。

38. 令和7年10月14日に一部改正し、令和8年度の実施より適用するものとする。

マーチング実施規定

(参加資格)

第5条 参加資格は、埼玉県吹奏楽連盟に加盟する団体で次のとおりとする。

以下、略

3. 少人数の団体の救済処置として、中学生部門およびBの部、高等学校部門は複数団体での合同出場を認める。

(出演時間)

第13条 Aの部およびBの部の出演時間は6分以内とする。Bの部の出演時間は7分とする。Cの部の出演時間は8分以内とする。出演時間とは、演奏または演技の開始から終了までの時間をいう。出演時間を超過した場合は審査の対象としない。

(改定)

第26条 この規定は、理事会の議決により改定することができる。

21. この規定は、令和7年2月4日に一部改正し、令和7年度の実施より適用するものとする。

22. この規定は、令和7年10月14日に一部改正し、令和8年度の実施より適用するものとする。

マーチング開催要項

第38回開催要項

〔演奏時間及び参加人員〕

部門	演奏時間	参加人員
小学生バンドフェスティバル	6分以内	80名以内
マーチングコンテスト Aの部	6分以内	ドラムメジャーを含め81名以内
マーチングコンテスト Bの部	6分以内	自由
マーチングコンテスト Cの部	8分以内	自由

※埼玉県では、マーチングを取り組む団体を育成するために以下のルールを設定しています。

出演者が二つ以上の団体に重複して出場することは認めないが、1加盟団体がAとBの部の両方に出場することができる。その場合は出演者の重複は問わない。

~~但し、上位大会の推薦はどちらか1つの部のみとし、参加申し込み時に優先する部を決定する。~~

1加盟団体が、Aの部・Bの部の両方に出場した場合、2部門とも上位大会へ推薦される権利を有する。

西関東バンドクリニック2025 タイムテーブル

2025/9/25 Ver.2

	全体	新潟県	B県	C県	D県	招待演奏
9:00						
9:30	B県リハ 60分		ステージリハ 9:05~10:05		音だし・チューニング	
10:00						
10:30	D県リハ 45分	音だし・チューニング			ステージリハ 10:05~10:50	
11:00						
11:30	A県リハ 45分	ステージリハ 10:50~11:35		音だし・チューニング		
12:00	C県リハ 45分			ステージリハ 10:35~11:20		音だし・チューニング
12:30	開場	昼食	昼食	昼食	昼食	公開リハ 11:20~1150
	開会式	開会式	開会式		開会式	待機
13:00						
13:30	招待演奏	鑑賞	鑑賞	鑑賞	鑑賞	招待演奏 13:00~14:00
14:00	幕総インタビュー	準備 音だし				
	休憩	チューニング				
14:30	A、Bの指導者から指導のポイント	待機・準備 本番	準備 音だし			
	A演奏 25分	14:35~15:00	チューニング			
15:00			待機・準備 本番	準備 音だし		
15:30	B演奏 25分		15:05~15:30	チューニング		
	C、D県の指導者から指導のポイント			待機・準備 本番	音だし	
16:00	C演奏 25分			15:40~16:05	チューニング	
					待機・準備 本番	
16:30	D演奏 25分				16:10~16:35	
	閉会式	帰路	閉会式	閉会式	閉会式	
17:00						

各控室等

楽屋 1	男性更衣室	楽屋 5, 6	西関東役員控室	第 1 リハ室	招待団体控室
楽屋 2	女性更衣室	楽屋 7, 8	補助員控室	第 2 リハ室	補助員控室
楽屋 3	会計	楽屋 9	救護室	展示室	新潟、B県控室
楽屋 4	役員本部	小ホール	音だし、チューニング	大会議室	C県、D県控室

その他

- ・午前中のリハは45分間（入れ替え含む）※群馬県はステージ上で音だし・チューニング
- ・展示室は8：50頃から使用可能
- ・午後の演奏は25分間（入れ替えに5分確保してあります。実演奏時間は22分程度でお願いします）
- ・出演者席は2階席、3階席を予定（一般客は2階は入場禁止。2階、3階は演奏途中での中退場は可とする）
- ・前日は埼玉の新人戦本選大会のため、前日のうちにステージ上のセッティング、開場準備は可能。

2026(令和8)年度 コンクール日程 (案1)8/26理事会

2025/8/20 現在

		25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
支部	会場	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
東部	羽生								○	○	○								
西部	所沢		仕込	○	○			○	○										
南部	さい文							○	○			○							
中央	さい文					○	○			○									
北部	鴻巣										仕込	DA	CB	B					
高校	さい文				D								A	A	A				
	所沢					B	B												
	久喜			C															
小大搬	さい文	仕込	一般A																
	所沢									小・大・般D									
さい文		夜間仕込	一般A		高D	中	中	南	南	中		南	高A	高A	高A	県中A	県中B		県高A
MUSE			夜間仕込	西	西	高B	高B	西	西	小・大・般D	県高B								

※申込状況によっては日程や部を調整する場合があります

2026(令和8)年度 コンクール日程 (案2) 久喜で中央を開催

2025/9/30 現在

		25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
支部	会場	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
東部	羽生								○	○	○								
西部	所沢		仕込	○			●	○	○										
南部	さい文				●	●				●									
中央	さい文/久喜					●久喜		●	●										
北部	鴻巣										仕込	DA	CB	B					
高校	さい文						D					●A	A	A					
	所沢				B	B													
	久喜			C															
小大搬	さい文	仕込	一般A																
	所沢									小・大・般D									
さい文		夜間仕込	一般A		南	南	高D	中	中	南		高A	高A	高A	県中A	県中A	県中B		県高A
MUSE			夜間仕込	西	高B	高B	西	西	西	小・大・般D	県高B								
久喜				高C		中		久喜は7/29、30を仮押さえ中											

2026(令和8)年度 コンクール日程 (案3) 戸田を11月にとる

2025/9/30 現在

		25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
支部	会場	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
東部	羽生								○	○	○								
西部	所沢		仕込	○	○			○	○										
南部	さい文				※戸田	※戸田		○	○			※戸田							
中央	さい文					○	○			○									
北部	鴻巣										仕込	DA	CB	B					
高校	さい文				D							A	A	A					
	所沢					B	B												
	久喜			C															
小大搬	さい文	仕込	一般A																
	所沢									小・大・般D									
さい文		夜間仕込	一般A		高D	中	中	南	南	中		高A	高A	高A	県中A	県中A	県中B		県高A
MUSE			夜間仕込	西	西	高B	高B	西	西	小・大・般D	県高B								
久喜				高C				久喜は7/29、30を仮押さえ中											

各支部コンクールチーフ各位

1. コンクールチーフ会の資料を作りますので、6月10日正午までにFAXで回答をお願いします

()支部

記入者()

出場編成数(シードを含んだ数)

Aの部	
Bの部	
Cの部	
Dの部	
合計	①

☆公費負担で貼付無しの編成数

ABD ()団体

C ()団体

市町村:

A・D両方に出る学校数

校 ②

参加学校数

① - ② = 校

シード団体の数

Aの部 学校名:

Bの部 学校名:

す。

1. 入場券の原稿にもなりますのでできるだけ早く連絡をください。

()支部 記入者()

日程と部門

[illegible]

入場券の締切日 (月 日)

入場券発送の作業日と場所 (月 日 時より 学校)

令和6年度第65回コンクール出場団体数

下段斜体は昨年度の数

6/8現在

部門	A	B	C	D	合計	A+D	団体数
東部	9+S2	48	9	12	80	4	76
	<i>9+S2</i>	<i>48</i>	<i>6</i>	<i>14</i>	<i>79</i>	<i>2</i>	<i>77</i>
西部	21	80+S1	2	4	108	2	106
	<i>18+S1</i>	<i>82+S1</i>	<i>2</i>	<i>4</i>	<i>108</i>	<i>2</i>	<i>106</i>
南部	18+S4	35+S1	0	4	62	4	58
	<i>17+S2</i>	<i>39+S1</i>	<i>0</i>	<i>4</i>	<i>63</i>	<i>3</i>	<i>60</i>
北部	11	39	4	2	56	0	56
	<i>9</i>	<i>41+S2</i>	<i>2</i>	<i>4</i>	<i>58</i>	<i>1</i>	<i>57</i>
中央	20+S1	37+S1	0	10	69	7	62
	<i>23+S2</i>	<i>32</i>	<i>0</i>	<i>12</i>	<i>69</i>	<i>8</i>	<i>61</i>
中学計	86	242	15	32	375	17	358
	<i>83</i>	<i>246</i>	<i>10</i>	<i>38</i>	<i>377</i>	<i>17</i>	<i>360</i>
高校	35+S6	53+S4	31	18	147	17	130
	<i>40+S5</i>	<i>50+S1</i>	<i>32</i>	<i>19</i>	<i>147</i>	<i>18</i>	<i>129</i>
小学校	–	10	–	–	10		10
	–	<i>8</i>	–	–	<i>8</i>		<i>8</i>
大学	3	–	–	3	6	1	5
	<i>3</i>	–	–	<i>3</i>	<i>6</i>	<i>1</i>	<i>5</i>
一般	22	–	–	3	25	0	25
	<i>20</i>	–	–	<i>2</i>	<i>22</i>	<i>0</i>	<i>22</i>
合計	152	299+小10	46	56	563	35	528
	<i>151</i>	<i>297+小8</i>	<i>42</i>	<i>62</i>	<i>565</i>	<i>35</i>	<i>530</i>

※小学校は部の区別なし、上部大会は東日本学校吹奏楽大会

2校合同 西部Aの部 坂戸市立城山中学校+坂戸市立若宮中学校
西部Aの部 坂戸市立千代田中学校+坂戸市立坂戸中学校
南部Aの部 志木市立志木中学校+志木市立志木第二中学校

小学校バンドフェスティバル

	マーチング
今年度	4
昨年度	4

大牧小上位大会棄権

▼小学校バンドフェスティバル代表

代表数	3	5
-----	---	---

マーチングコンテスト 中B 新座四中上位大会棄権

	A	B	C	合計
中学校	4	3	0	7
昨年度	4	4	0	8
高校以上	4	4	1	9
昨年度	4	3	2	9

▼マーチングコンテスト代表数11(11)

中学A		3
中学B		2
高校以上A		4
高校以上B		2

※代表数は10団体、但しBに2団体以上出たら+1なので、11団体になります。

※昨年度の全日本出場＝中A 久喜栗橋東中 高以上A 伊奈学園総合高校

9月29日18:00時点

◆県大会出場数について

A参加数

Aの部	東部	西部	南部	北部	中央	合計	高校
支部参加数	24	39	39	20	29	151	55
シード	1	2	2	0	2	7	8
a (Sを除く)	23	37	37	20	27	144	47
b(a/参加数-S)	15.97%	25.69%	25.69%	13.89%	18.75%	100.00%	*
17(基礎数)*b	2.72	4.37	4.37	2.36	3.19	17.00	*
29(基礎数)*b	4.63	7.45	7.45	4.03	5.44	29.00	*
代表数(基礎数17)	3	4	4	2	3	16	16
代表数(基礎数29)	5	8	7	4	5	29	

代表率(R7)	4.7	5.4	6.3	5.3	5	平均値	
1日開催(基17)暫定	7.7	9.3	9.3	10.0	9.0	9.0	2.9
2日開催(基29)暫定	4.6	4.6	5.3	5.0	5.4	5.0	

B参加数

※シードの東部・太東、南部・志木、中央・大宮南、高校・開智未来、滑川総合 はAの部

Bの部	東部	西部	南部	北部	中央	合計	高校
支部参加数	29	70	25	29	29	182	49
シード	1		0	1	1	3	1
a (Sを除く)	28	70	25	28	28	179	48
b(a/参加数-S)	15.64%	39.11%	13.97%	15.64%	15.64%	100.00%	*
30(基礎数)*b	4.69	11.73	4.19	4.69	4.69	30.00	*
24(基礎数)*b	3.75	9.39	3.35	3.75	3.75	24.00	*
代表数(基礎数30)	5	12	4	5	5	31	20
代表数(基礎数24)	4	9	3	4	4	24	

倍率(R7)	7.3	7.2	7.4	7	6	平均	
代表率(基30)暫定	5.6	5.8	6.3	5.6	5.6	5.8	2.4
代表率(基24)暫定	7.0	7.8	8.3	7.0	7.0	7.4	

	審査集計ファイル名	月 日	部門	出場数			代表数	入場券 番号
				出場	シード	合計		
東部	1_2024E82D	8月2日(金)	D			0	-	東1
	2_2024E82A		A	9	2	11	2+S2	
	3_2024E83B	8月3日(土)	B			0		東2
	4_2024E83C		C			0	-	
	5_2024E84B	8月4日(日)	B			0		東3
西部	6_2024W81A	8月1日(木)	A	21	0	21	5	西1
	7_2024W82C	8月2日(金)	C			0	-	西2
	8_2024W82B		B			0		
	9_2024W83D	8月3日(土)	D			0	-	西3
	10_2024W83B		B			0		
	11_2024W85B	8月5日(月)	B			0		西4
南部	12_2024S81A	8月1日(木)	A	18	4	22	5+S4	南1
	13_2024S84D	8月4日(日)	D			0	-	南2
	14_2024S84B		B			0		
	15_2024S86B	8月6日(火)	B			0		南3
北部	16_2024N731D	7月31日(水)	D			0	-	北1
	17_2024N731A		A	11	0	11	3	
	18_2024N81C	8月1日(木)	C			0	-	北2
	19_2024N81B		B			0		
	20_2024N82B	8月2日(金)	B			0		北3
中央	21_2024M727B	7月27日(土)	B			0		中1
	22_2024M730D	7月30日(火)	D			0	-	中2
	23_2024M730A		A			0		
	24_2024M731D	7月31日(水)	D			0	-	中3
	25_2024M731A		A			0		
高校	26_2024H726D	7月26日(金)	D	18		18	-	高1
	27_2024H728C	7月28日(日)	C	31		31	-	高2
	28_2024H729B	7月29日(月)	B			0		高3
	29_2024H730B	7月30日(火)	B			0		高4
	30_2024H731B	7月31日(水)	B			0		高5
	31_2024H82A	8月2日(金)	A			0		高6
	32_2024H83A	8月3日(土)	A			0		高7
小学生	33_2024PP84	8月4日(日)	小	10		10	3	小
大学D	34_2024U84D		D	3		3	-	D
職場一般D	35_2024C84D		D	3		3	-	
県大会	36_2024PH87B	8月7日(水)	高B			0	9	県 1
	37_2024PJ88A	8月8日(木)	中A	27		27	8	県 2
	38_2024PH89A	8月9日(金)	高A			0	13	県 3
	39_2024PJ810B	8月10日(土)	中B	33		33	9	県 4
	40_2024PU728A	7月28日(日)	大A	3		3	1	セブンチケット
	41_2024PC728A		職般A	22		22	6	

集計ファイルの名前・・・E東 W西 S南 N北 M中 ABCDは部

U大学 C一般 P小学校(Eは東部で使っちゃったから)
県大会P

審査用紙のスキャンは審査員ごとをお願いします。学校ごとではありません
スキャンデータのファイル名は集計ファイルの最初の数字と審査員名をつけてください。

例 東部の1日目 1D_京谷 1D_松井 ...

1A_京谷 1A_松井 ...

例 西部の1日目 6_中舘 6_大山 ...

例 西部の2日目 7C_甲藤三倉齋藤望月荻原

中学Cの部は少ないので5人分1回でスキャンできます。

西関東吹奏楽連盟 聴講研修会参加報告書

聴講事業	第【31】回西関東【吹奏楽コンクール】（令和7年9月7日）	
聴講部門	高等学校部門 Aの部	
所 属	埼玉県	さいたま市立大谷口中学校
氏 名	伊藤 双葉	

聴講報告

聴講会参加前の自身の課題

「吹奏楽の演奏について明確な理想を持った上で生徒の演奏をディレクションする。」

聴講会参加の目的

- ①各校の演奏を聴いて、評価される音楽とはどのようなものなのか分析する。
- ②自分の理想とする音楽はどのようなものなのか考える。

聴講報告

【1】評価されるサウンドについて

特に評価されるサウンドに共通する特徴は以下の通りであった。

正確さ（A） × 音色の美しさ（B） = 評価されるサウンド

（A）は、音程感、アタック・リリースなどの音の形の揃い方などのスキルに関わることで、正解が決まっているものだと考える。これらは基礎練習がものをいうことは明白である。対して（B）は各楽器の響きやバランス、フレージングなどの、多少好みもあるようなものだと考える。指導者がどんな音にしたいかが定まらなないとディレクションすることはできない。反対に、それさえ定まればあとはそれを表現するコントロール力をつけるための基礎練習で事足りる。

【2】理想的な音色について

まず、直線（タテ）・曲線（ヨコ）両方に対応できる音を理想とする。直線=強奏部分、曲線=弱奏部分とは限らないので、アナリーゼして生徒に示す。特に曲線的な音楽ではフレーズの受け渡しを丁寧にするために相当な持久力が必要となる。

また、金管中心のいかにも“ブラスバンド”というバランスの音ではなく、木管もしっかり鳴らして金管と組み合わせさせて編んでいくような、そこに装飾や核として入る打楽器というシンフォニックな“ウインドオーケストラ”というバランスの音を理想とする。これらの中では後者の方がどうしても音量という観点ではレベルが低い印象になってしまうことが多いが、上位校の演奏はそれを感じさせないものであった。

明確な理想を持った上で生徒の演奏をディレクションするには、その理想の共有と練習方法の提示が必要である。今回私が聴講から学ばせていただいたように、生徒にも基礎練習で常時行っていることを上位校はどんなことに気をつけて練習しているか見学させてもらうなどの機会を与えたい。また、埼玉県の吹奏楽の水準の高さを感じたので、それを守っていくためにも近隣の学校で互いに学び合う演奏会や大会に対する価値づけをしていきたいと思う。

※所属には、県名および所属団体名や県吹奏楽連盟内の役職などをご記入ください。

※この報告書は、西関東吹奏楽連盟理事会に資料として提出させていただきます。

西関東吹奏楽連盟 聴講研修会参加報告書

聴講事業	第【31】回西関東【吹奏楽コンクール】(令和7年 9月6日)	
聴講部門	中学生 A の部	
所属	埼玉県 中央支部理事	さいたま市立片柳中学校
氏名	武藤 正晃	

聴講報告

このたび、西関東吹奏楽コンクール中学生 A の部を聴講研修させていただき、大変貴重な学びの機会となった。今回の研修を通して、特に印象に残った点は、「基礎力の高さ」、「ホールでの聞こえ方の違い」、そして「音楽を奏でる意義」の三点である。

まず、「基礎力の高さ」についてである。西関東大会に出場する団体は、いずれも高い演奏技術と音楽性を備えており、日々の練習の積み重ねが感じられる演奏であった。私は、基礎力とは単に個々のテクニックだけでなく、周囲の音を聴き合い、音を寄り添わせていく「合奏力」も含まれると考えている。今回の演奏では、個人の技術が際立つ団体もあれば、音を丁寧に合わせることで合奏としての完成度を高めている団体もあり、それぞれのアプローチに学ぶべき点が多くあった。特に全国大会に推薦された団体は、個々の力と合奏力の両方が非常に高く、指導者として大きな刺激を受けた。

次に、「ホールでの聞こえ方の違い」についてである。今回は審査員席と同じブロックで演奏を聴くことができ、翌日の高校 A の部では 1 階席からも鑑賞する機会があった。座席の位置によって、音のバランスや各楽器の聞こえ方が大きく異なることを実感した。審査員席では、各声部の役割やバランスがより明確に伝わり、演奏者がどのような音楽を目指しているのかがより深く理解できた。ホールでの響きを意識した練習の重要性を改めて認識し、今後の指導においても、実際の演奏環境を想定した練習の必要性を強く感じた。

最後に、「音楽を奏でる意義」について深く考えさせられた。中学生の演奏には、細部まで徹底的に作り込まれた「極めた演奏」をする団体もあれば、子どもたちが音楽を楽しんでいる様子が伝わる「生き生きとした演奏」もあった。評価の観点からは前者が高く評価される傾向にあるが、後者のような演奏も、音楽を通じて豊かな心を育むという点で非常に意義深いと感じた。私自身の指導を振り返ると、評価を意識するあまり、生徒が音楽を楽しむ余裕を失ってしまっていた場面もあったのではないかと省みる機会となった。今後は、技術の向上と同時に、生徒が音楽を通して自己表現し、心から楽しめるような指導を心がけたい。中学生という多感な時期に、音楽を通して豊かな感性を育み、生涯にわたり音楽に親しむ心を育てることが、私たち指導者の大切な役割であると改めて感じた。

最後に、このような貴重な学びの機会を提供してくださった西関東吹奏楽連盟の皆様、心より感謝申し上げます。

令和 8 年 9 月 3 0 日
埼玉県吹奏楽連盟 常任理事 保々 彩
同 理事 関真理江

令和 8 年度の吹奏楽コンクール小学生部門に関する要望

令和 7 年度の全日本小学生バンドフェスティバルでは、今年度の「ステージパフォーマンス部門」が「ステージ部門」へと名称が変更になりました。これにより、全日本 BF も名実ともに音楽で評価するコンテストとなり、東日本学校吹奏楽大会と同質の大会となると考えられます。

小学校の学校行事の関係で、コンクール参加校の中に BF ステージ部門上位大会に参加できない学校が多くあります。できるだけ、多くの学校が上位大会に進めるようにするため、以下を提案します。

○埼玉県大会に出場時、以下のアンケートに回答する。

	第 1 希望	第 2 希望
コンクール部門		
BF ステージ部門		
希望しない		
上位大会に進めない団体がある場合、 順位に関係なく第二希望になっても良い（ ）（良い場合は○）		
※例えば上位 4 校が全校、東日本大会しか出場できない場合は、4 位の学校は上位大会には進出できないが、全日本 BF の西関東コンクールに出場する (次点の繰り上げはしない。)		

将来的には、西関東吹奏楽コンクールまでは、コンクール部門と BF ステージ部門を、1 つの大会として行うことを要望します。

以上、ご検討よろしく願いいたします。

埼玉県吹奏楽連盟 理事会の皆様

埼玉県小学生バンドフェスティバル フロア部門の今後について

いつも大変お世話になり誠にありがとうございます。埼玉県マーチングコンテストと同時開催される小学生バンドフェスティバル フロア部門についてご検討いただければ幸いです。

今回本部門の出場は過去最少の(さいたま市立の)3小学校のみ(蓮沼小学校・大谷口小学校・上里小学校)となってしまう、大会後に3校担当の先生(何れも音楽専科教諭)に、次年度以降もこのまま出場を続けていけるためにはどうしたらよいかの話し合いをお願いしました。

その結果、以下の意見を3者の総意として受け取りました。(原文のまま)

小学校の現状

- ・ あと数年は体育館にエアコンが入らないそうです
- ・ 学校閉庁日開けが大会のため、体力面が厳しい

要望(可能であれば)

- ・ 開催日があと1週間後だとありがたい
- ・ このまま西関東までオールスルーなのであれば、点数と講評のみのフェスティバル形式も良いのでは(M協大会も)

最優先の課題は、この近年の猛烈な暑さの最中に開催される大会であることへの対策です。小学校はエアコンの入る体育館等を借用して練習をするというようなことはまず不可能です。またさいたま市立学校では、閉庁日(本年は8/12火～8/18月)を設けており、活動再開は閉庁日明けになりますが、その期間は研修等のため出勤日が多くあり、教員は研修に参加する必要がある、思うように直前練習はできません。

なおさいたま市では10年程前までは夏休み中(主に7月中)は水泳指導が行われ、児童が夏休み中に登校することは珍しくありませんでしたが、様々な安全上の理由から中止となり、コロナ後は夏休み中に登校するのは金管バンド児童のみとなり、たいへん特殊な活動となっています。

またさいたま市立小学校では、サッカー大会や駅伝大会等の順位等を競い合う体育的行事も長年行われてきましたが、時代の変化に合わせ、一昨年度全て廃止となりました。その意味でもコンクールのような他校と競い合う行事に参加することは、管理職や周囲の先生方の理解を得ることが難しくなっています。準備もままならない時期に優劣が明白になるのは精神的な負担にもなり、児童には県大会は最初の大きな本番として、のびのび楽しく臨ませてあげたいというのが正直な気持ちです。

開催時期を大きく変更することは、県・西関東のコンクール日程を考慮するとまず不可能です。

以上により、県吹連として出場しやすい環境づくりの対策としてできることは、以下となります。

(西関東大会への出場がオールスルーの状況が続くのであれば)

小学生バンドフェスティバルフロア部門は、優劣を示さない(文字通り)フェスティバル形式とする

今後、「猛暑」「児童の健康面を中心とした安全確保」「教員の働き方改革」等へ考慮する必要性が増していく中、今何もしなければ(出場数が減ることはあっても増えることはなく)、他県同様に近い将来出場が0になり、本部門は自然消滅となってしまいます。

最後に、小学校関係の表彰方法は、コンクールも含め(昨年度発足した)小学校部会を中心に検討決定できるようにすると、より参加しやすい現場の実態に合った大会運営につながると考えます。

埼玉県吹奏楽連盟コンクール運営委員 鈴木幹根
(さいたま市小学校音楽専科初任者指導教員)

後援申請

報告

事業名 あつまれ！未来の演奏家たち

主催 一般社団法人みむみむの森芸術文化振興グループ

代表者 吉田真理 担当 アティエ 範子

内容 埼玉県内の木管楽器を愛好する小中高生が多様な仲間とアンサンブルを楽しみ、プロ演奏家の指導を通じて聴く力や表現力を育成します。モーツァルトの室内楽演奏や全体合奏を通じて感性と創造力を伸ばし、毎年成果発表会で地域とともに成長できる恒例行事とします。

日程 令和7年12月21日（日）

会場 新座市市民会館

予定観客動員数 200人

料金 コンサート一般 1,000 円、 出演費 11,000 円（11 枚の鑑賞券と交換）

他後援予定 文部科学省、埼玉県教育委員会